

産地パワーアップ事業  
地域再生協議会等の事業評価報告書

地域再生協議会名	地区名	取組主体名	整理番号	作物名	取組内容	成果目標の具体的な内容	目標数値			事後評価の検証方法	達成率(%)	取組主体の評価	その他
							計画時	目標	実績				
仁淀川地域農業再生協議会（JAコスモス地域農業再生協議会）	いの町・仁淀川町・越知町・佐川町・日高村	高知県農業協同組合（コスモス営農経済センター）（旧：コスモス農業協同組合）	1	しょうが	しょうが産地の維持・発展	販売額の10%以上の増加	1,374 千円/10a (H27)	1,633 千円/10a (H30)	1,326 千円/10a (H30)	①現状値：取組主体における平成27年度（平成26年度産）販売額÷栽培面積より算出 ②目標値：取組主体における平成30年度（平成29年度産）販売額目標 ÷取組主体における栽培予定面積（JA調べ） ③実績値：平成30年度（平成29年度産）販売額実績÷栽培面積から算出 ④達成率：（③-①）/（②-①）×100	-18.9%	4月の降雨が例年よりも多く、ショウガの重要病害である根茎腐敗病が発生したことにより発病株の除去をしたため、収量が減少した。また、白星病の発生、肥大期であるH29年7～8月に降雨が少なかったこと等から肥大が進まず、下位規格品の出荷割合が増加した。更に、根茎腐敗病菌が圃場内に広がるリスクが高く、病害防止のために輪作等を行ったため、作付面積が減少した。これらのことから、販売額が減少し、目標達成には至らなかった。  今後は、根茎腐敗病等の病害対策として、土壌消毒に係る基本的な指導に加え、農地をローテーションできる生産者であれば一度発病した圃場では連作を避ける等生産者の状況に応じた指導、農薬メーカーを交えた防除講習会を開催し、病害対策を周知する。その他、生産者が天候に応じた灌水管理が実施できるよう栽培指導についても行う。  作付面積については、ショウガ農家による研修生の受け入れを行い、担い手の確保等を行うことによって作付面積の拡大を図り、販売額の目標達成を図る。	